

<報道関係各位>

2011年1月19日
メディカルアイ株式会社

メディカルアイが
クラウド型クリニック向け支援サービス「診療会議」を本格展開

メディカルアイ株式会社（以下、メディカルアイ、本社：東京都港区 代表取締役：山口典枝）は、日本最大級の医療従事者向けポータルサイト「m3.com」(<http://www.m3.com>)を通じて展開中のクリニック向け支援サービス「診療会議」のインフラ基盤として、株式会社ケイ・オプティコム（以下ケイ・オプティコム、代表取締役社長：藤野 隆雄／本社：大阪市北区）の「医療クラウド」を採用しました。これにより、既にサービス提供中のネット型電子カルテ「医歩 ippo」に加えてレセプトチェックや投薬管理ツール等の新たなサービス提供が可能になりました。今後も更に支援サービスを拡充していきます。

■「診療会議」の背景

「診療会議」は、新しいクリニック経営を実現する為に、開業医に向けた新たな各種支援サービスの提供基盤です。プロモーション活動には、エムスリーが運営する日本最大級の医療従事者向けポータルサイト「m3.com」(<http://www.m3.com>)を活用します。勤務医から開業医へと変わったことによる環境変化に伴い診療に費やす時間が少なくなった、もっと診療に専念したいという悩みを多くの開業医の先生方が抱えています。「診療会議」ではその解決策として、安価なツールの利活用や外部サービスの採用により、クリニック内の業務削減や効率化を提案していきます。

■「診療会議」提供サービス内容

『「診療会議」プロモーションサイト：<http://www.medical-i.jp/shinryoukaigi/>』では、どこでも使えかつ安価なクラウド型のツール類（例：電子カルテ、投薬管理ツール）や、ツールにより蓄積されたデータを外部の人的サービスとつなげるもの（例：レセプトチェックサービス、遠隔読影サービス）など、新たな付加価値サービスの提案を行い、資料請求などの問い合わせ、デモの依頼、サービスの購入までを一貫して行うことができます。サービス購入後は、『「診療会議」ポータル』からサービスが一元的に提供されます。また、このポータル上に全サービスの一元的な問い合わせ窓口を設け、故障・請求などを一括で受け付けます。

■ 「診療会議」のパートナー企業

「診療会議」は、ソフトウェアベンダー向けのアプリケーション基盤であり、また、サービス基盤でもあります。そのため、ソフトウェアさえあれば、データセンタ、集金代行、問合せ窓口などは「診療会議」の基盤を利活用できるため、クラウド型のサービスを早期に立ち上げ可能です。例えば、医師が日々の診療の中で発案したツールを広く世に出したいという場合に、発案者自身の情報管理業務や事務手続きなどの負荷が軽減されます。この事例として、あずまリウマチクリニックの東孝典先生ご発案の生物学的製剤の投薬管理を支援するツールをこの度「診療会議」にて提供いたします。また、既に「診療会議」にてご紹介中の ViewSend ICT 株式会社の Mini PACS とつなげた、遠隔読影サービスも現在準備中です。

■ メディカルアイ株式会社

<http://www.medical-i.jp/>

社名　　メディカルアイ株式会社

本社　　東京都港区芝大門 2-5-5 住友不動産芝大門ビル 12 階

設立　　2007 年 10 月

資本金　52 百万円（2011 年 1 月現在）

■ 本件に関するお問い合わせ先

メディカルアイ株式会社

担当：山口（Tel：03-5408-0870）